

令和2年度 福井市川西中学校 スクールプラン

福井市学校教育目標

「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」

福井市学校教育方針

地域に根ざす「学びの一貫性」

川西中学校区教育

「自ら考え地域と共に主体的に取り組む園児・児童・生徒の育成」

< 教育目標 >

確かな学力と豊かな心、健やかな心身を持った生徒を育てる

< 校訓 > 【自主】 【明朗】 【節度】

< めざす生徒像 >

- 確かな学力を持ち、それを活用しようとする生徒
- 互いに違いを認め合い、自信を持って活動できる生徒
- 郷土に誇りと責任を持ち、夢や希望を語れる生徒



めざす学校像・生徒像

- ・上級生の姿が手本となる学校
- ・生徒が主役の活力のある学校
- ・家庭や地域に信頼される学校

★文武両道と環境の変化への柔軟な対応

生徒の実態

- ・明るく素直で落ち着いて生活できる
- ・何事も真面目に取り組もうとする
- ・地域活動に参加しようとしている

< 研究主題 > 学びのつながりを意識した授業づくり

具体的な取り組み (生きる力の育成)

確かな学力の育成

- ◎基礎・基本の徹底とコミュニケーション力の向上を目指した指導
- ◎資質・能力を明確にし、教科の枠を超えた授業改善
- ◇主体的・対話的な学習態度育成
- ◇家庭学習のさらなる充実

- ・朝読書、家庭読書の継続、学校図書館のさらなる活用で、読書習慣を継続する。(7割)
- ・習熟の程度や個に応じた指導を充実し、一人一人の学習の最適化を図る。(7割)
- ・自ら学び、考え、自分の言葉で伝え合う学習を重視する。(7割)
- ・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を促進する。(ICT活用)
- ・若手教師塾で、指導力のさらなる向上を図る。(年3回以上研修)

豊かな心の育成

- ◎「道徳科」の授業の充実
- ◎夢や希望、学習意欲を高める教育活動の工夫
- ◇学年担任を意識した学級経営の充実
- ◇社会性を育てる体験活動充実

- ・夢や希望の実現につながる体験活動を充実し、キャリア教育を推進する。(年間2回以上)
- ・地域と進める体験活動「川西PRプロジェクト」を推進し、その成果を発信する。(月1回報道)
- ・特別活動の工夫により、生徒相互の絆づくりやの生徒の居場所づくりを行い、いじめ見逃し0新たな不登校0を目指す。
- ・学年担当教員で道徳を行い「考え・議論する道徳」に向けて指導を充実する。(7割)

健やかな心身の育成

- ◎互いに高め合える校風づくり
- ◎健康・体力のさらなる向上
- ◇基本的生活習慣の向上(挨拶)
- ◇部活動のさらなる活性化

- ・生徒の安全(物理的)安心(精神的)を保障し「通うのが楽しい学校」に向けた生徒会のアクションプラン(学期1回以上)を実施する。
- ・保健体操や教科体育の充実を図り、体力の向上への意欲を高める。(8割)
- ・特別な支援を必要とする生徒へのサポート体制を充実すると共に相談活動で困り感のある生徒に速やかに支援を行う。
- ・複数担当制で時間を有効に活用する部活動を行い「目標を明確にした主体的な活動」を推進。(8割)

信頼される学校づくり

- ◎教育活動の「見える化」の促進
- ◎気軽に相談できる学校
- ◇学習活動の積極的な公開
- ◇地域でのボランティア活動の推進

- ・生徒会が見直した川西中スマートルールを徹底する。(7割)
- ・学校行事や授業への保護者の参加・参加を増やし、学校教育への理解と協力を促進する。(7割)
- ・川西中のよさ、生徒の頑張りを月1回以上学校・学年だよりやホームページ等で継続して発信する。
- ・郷土ボランティアを通して地域の一員としての自覚を高める。(川中1000人参加プロジェクト)(8割)
- ・取組一覧表を基に小中連携による挨拶運動や地域の協力による体験活動の充実を図る。(7割)

★チーム川西を合言葉に「情報共有」「迅速な組織的対応」「説明責任」の徹底とめりはりのある指導を通して「地域に開かれた信頼される学校」をめざす！

< 業務改善 >

- 1年生の複数担任制
- 部活動複数顧問制
- 職朝は週1回 月曜日
- 会議は1時間以内
- 水曜日ノー残業デー
- デイリーメモによる連絡
- 学校日誌・文書受付の電子化
- 時間外の主な業務12項目への的確な対応
- 20:00までに退勤